

函館港幹線臨港道路湾岸線の供用式典を開催

北海道開発局 函館開発建設部 築港課

平成 29 年 3 月 25 日(土)、函館開発建設部が整備を進めてきた幹線臨港道路湾岸線の全線開通を記念し、地元選出国會議員をはじめ、函館市長、北斗市長、港湾関係者など約 100 名がご臨席のもと供用式典を開催しました。

函館港幹線臨港道路湾岸線は、「ともえ大橋」を含むⅠ期工区(約 2.7km)を平成 9 年に完成・開通していましたが、そこから続く国道 227 号七重浜交差点までのⅡ期工区(約 3.9km)のうち、「港町ふ頭こ線橋」と「七重浜交差点接続部」が平成 28 年度に完成し、全線開通となりました。

これにより、ふ頭間をつなぐ臨港交通軸が完成し、

フェリー貨物をはじめとする港湾物流の円滑化が図られるとともに、災害時における緊急物資の輸送経路が確保されるほか、人気観光スポットが集中する函館中心部への観光アクセスの向上による地域経済の活性化が期待されています。

式典は、工藤函館市長及び菊池函館開発建設部長からの主催者式辞で始まり、宮崎港湾局計画課長の挨拶のほか、来賓として出席された前田衆議院議員と逢坂衆議院議員から祝辞を頂きました。その後、「港町ふ頭こ線橋」へ移動し、晴天のもとテープカットと“走り初め式”が行われました。



工藤 函館市長



宮崎 港湾局計画課長



前田 衆議院議員



逢坂 衆議院議員



テープカットの様相(背景は函館山)